

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
<p style="text-align: center;">おにのパンツをつくろう ～第2回 パンツを縫おう～</p>	小	グループ学習 高学年ビーバー （図画工作）	
<p><ねらい> 1. 手指を使い、不織布の穴に糸を通してパンツを縫う。(知識・技能) 2. つくるもののイメージをもって作る(思考力・判断力・表現力) 3. 見本や友達が取り組んでいる様子を見て、興味をもって取り組もうとする。 (学びに向かう力 人間性等)</p>			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
<p>1. あいさつ</p> <p>2. 歌遊び「♪かみなりどんがやってきた」</p> <p>3. 絵本『かみなりどんがやってきた』</p> <p>4. つくろう 「鬼のパンツを縫おう」</p> <p>5. 発表</p> <p>6. あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の名前を呼んだり、名前を呼ばれて返事をしたりする。 ・歌に合わせて動きを模倣する。 ・言われた体の部位を隠す。 ・絵本『かみなりどんがやってきた』を見聞かす。 ・教師の実演を見る。 ・不織布の穴に糸を一つ一つ通して縫う。 ・友達の縫ったパンツを見る。 ・終わりの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音に課題のある児童には、口の動かし方を見せながら名前を伝える。 ・隠す体の部位を事前に示しておく。 ・絵本『かみなりどんがやってきた』 ・絵本に注目させる。 ・不織布 ・毛糸 ・糸通し ・ハサミ ・穴に糸が通しやすいように毛糸の先に糸通し（段ボール製）をつけておく。 ・児童の実態に応じて毛糸の長さを調節する。 ・糸を通す際、表裏がわかりやすいように印をつけておく。 ・友達の作った作品に注目させる。 	
<p><内容（工夫点など）> ・糸が通しやすいように、段ボールで作った糸通しを毛糸の先につけたり不織布の表裏に印をつけたりした。また、見本がわかりやすいように、一人ずつ目の前で糸の通し方を示した。</p> <p><良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）> ・はじめは糸を通すことが難しかった児童達も、表裏の印をつけておいたことで表に通した後は裏に通すことが分かり、糸を通せるようになった。自信を持って取り組み、最後まで糸を通せた時は、嬉しそうな様子の児童が多く見られた。</p>			